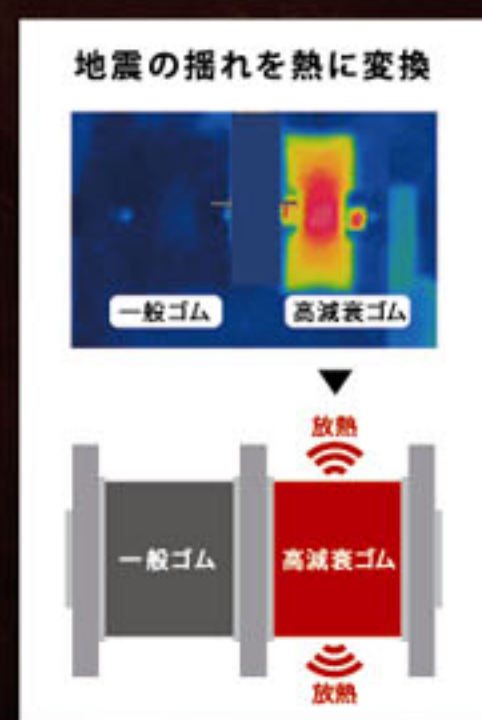


日本人は、はるか昔から  
地震と生きる技術を進化させてきた。



【住宅用制震ダンパー】

岐阜県、白川郷。寒さから身を寄せ合うように建ち並ぶ家々は、世界遺産として知られる合掌造りの集落だ。その名の由来である急勾配の屋根には、1本の釘も使われていない。コマの心棒のように尖らせた屋根材の先端を、ただ梁の窪みに差し込む。いわば、屋根全体が母屋に乗せてあるだけの状態なのだ。これは、地震や冬の苛烈な風雪を、柔軟に受け流すための知恵だという。

日本人は、こうしてはるか昔より自然と生きる術を発達させてきた。住友ゴムの住宅用制震ダンパー「ミライエ」は、その最先端ともいべき存在だ。レーシングタイヤの研究・開発から生まれた技術を応用した独自の高減衰ゴムが、地震の揺れを瞬時に熱に変換し、建物の揺れの約70%<sup>\*</sup>をも吸収する。厳しくも豊かな、この国の自然と生きていくために。私たちの進化が止まることはない。

\* 振動台実験の結果によるものであり、建物形状、配置プラン、地震波によって異なります。



守りたい、人、家、未来。  
**MIRAIE**  
住宅用制震ダンパー  
【ミライエ】

# いのちのためのゴム。

for you, for the earth  
あなたのために、地球のために。

